

# インベスコ 世界厳選株式オープン【愛称：世界のベスト】

- <為替ヘッジあり> (毎月決算型) / <為替ヘッジなし> (毎月決算型)
  - <為替ヘッジあり> (年1回決算型) / <為替ヘッジなし> (年1回決算型)
  - <為替ヘッジあり> (奇数月決算型) / <為替ヘッジなし> (奇数月決算型)
- 追加型投信 / 内外 / 株式

## 特別レポート

### Q&Aで解き明かす「世界のベスト」



#### 当レポートの構成

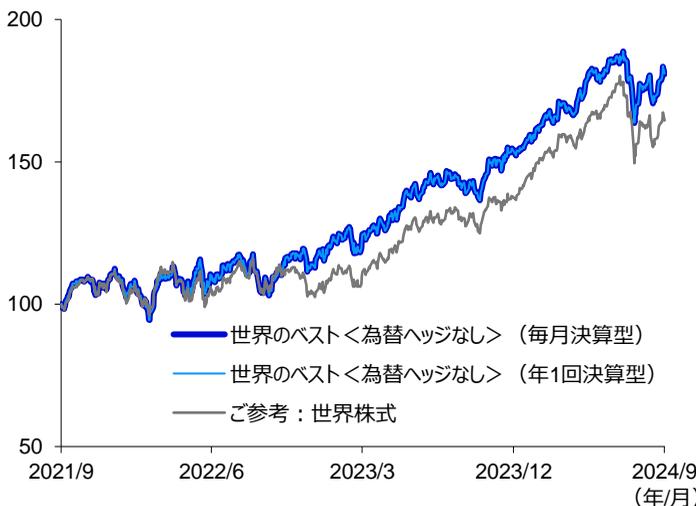
- Q1** 「世界のベスト」のパフォーマンスの状況を教えてください...P.1
- Q2** 主要な株式のスタイルと世界のベストの運用戦略の値動きを教えてください... P.2
- Q3** 2024年夏の相場下落時の投資行動について教えてください...P.3
- Q4** 具体的にどのように銘柄を選択していますか...P.4
- Q5** 「金融」セクターの組み入れ比率が高い背景を教えてください...P.5
- Q6** マグニフィセント7についての見方を教えてください...P.6
- Q7** 今年新たに組み入れた銘柄について教えてください...P.6
- Q8** 今後、どのような分野に投資機会があると考えていますか...P.7

## Q1 「世界のベスト」のパフォーマンスの状況を教えてください

- 運用チームでは、銘柄の厳選と確信度の検証を徹底的に行い、個別銘柄およびポートフォリオ全体のリスク分析を一段と重視した運用を行ってきました。特定の業種や投資テーマに偏らないポートフォリオを構築することで、相対的に長期で良好なパフォーマンスを実現してきました。

### 過去3年間のパフォーマンス推移

期間：2021年9月末～2024年9月末  
2021年9月末を100として指数化



### 同カテゴリー・ファンドとのパフォーマンス比較\*1

モーニングスターカテゴリー・ランキング 2024年9月末現在

	1年	2年	3年
<span style="color: blue;">●</span> <為替ヘッジなし> (毎月決算型)	41位(上位19%)	8位(4%)	4位(2%)
<span style="color: blue;">◆</span> <為替ヘッジなし> (年1回決算型)	40位(上位18%)	7位(4%)	3位(2%)
<span style="color: grey;">■</span> 同カテゴリー内 ファンド数合計	219本	190本	163本

\*1 分析ツールのモーニングスター・ダイレクトが分類する「日本-外国株式・世界型」(投資地域がグローバル株式・為替ヘッジなしの日本国籍のファンドのカテゴリー)を対象として、2024年10月1日現在において確認可能な情報と比較したものです。知的財産権はモーニングスターに帰属します。【グラフ・表】出所：インベスコ、ブルームバーグ、モーニングスター・ダイレクト。基準価額は、課税前分配金再投資(信託報酬控除後)を使用しています。世界株式は、MSCIワールド・インデックス(税引後配当込み、米ドルベース)を使用し、当ファンドの基準日の前営業日の数値を用いて委託会社にて円換算しています。同インデックスはグラフ期間中の市場環境を示す目的でご参考として掲載しています。上記は過去のデータであり、将来の成果を保証するものではありません。当資料では、「インベスコ 世界厳選株式オープン<為替ヘッジあり> (毎月決算型) / <為替ヘッジなし> (毎月決算型)」、「インベスコ 世界厳選株式オープン<為替ヘッジあり> (年1回決算型) / <為替ヘッジなし> (年1回決算型)」および「インベスコ 世界厳選株式オープン<為替ヘッジあり> (奇数月決算型) / <為替ヘッジなし> (奇数月決算型)」を総称して「当ファンド」という場合があります。また、決算頻度に応じてそれぞれ「毎月決算型」、「年1回決算型」、「奇数月決算型」、為替ヘッジの有無に応じてそれぞれ「為替ヘッジあり」、「為替ヘッジなし」の呼称を使う場合があります。当ファンドはインベスコが運用を行います。インベスコは、インベスコ・リミテッド並びにインベスコ・リミテッド子会社および関連会社からなる企業グループで、グローバルな運用力を提供している独立系資産運用会社です。

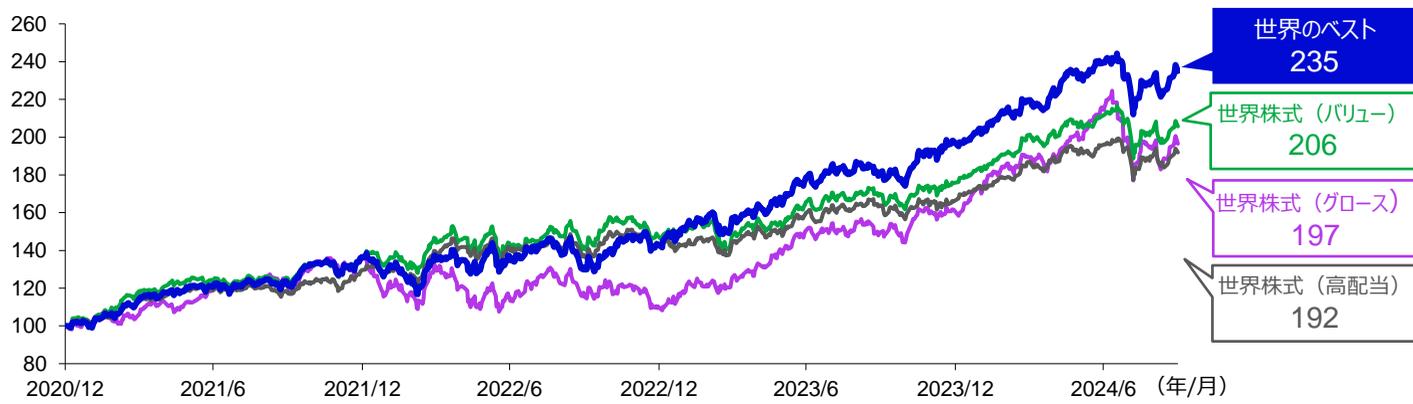
# インベスコ 世界厳選株式オープン 【愛称：世界のベスト】

## Q2 主要な株式のスタイルと世界のベストの運用戦略の値動きを教えてください

- 「世界のベスト」は、国・地域や業種、バリュースタイルやグロースなどといった株式のスタイルに偏らない運用を行っています。2021年以降の「世界のベスト」の運用戦略のパフォーマンスを、世界株式のバリュースタイル、グロース、高配当といった**主なスタイルの株式の値動きと比較すると相対的に良好な結果**となっています。
- 暦年のパフォーマンスを見てみると、例えば、2022年はバリューや高配当が優勢、逆に2023年はグロースが優勢と年によって市場が選好するものが異なりました。その中、「世界のベスト」は、**市場のスタイルに左右されずどの年にも安定したパフォーマンスをあげてきたことが長期で良好な運用結果をもたらした**と考えています。

**2021年以降のパフォーマンス推移** 期間：2020年12月末～2024年9月末（2020年12月末を100として指数化）、円ベース

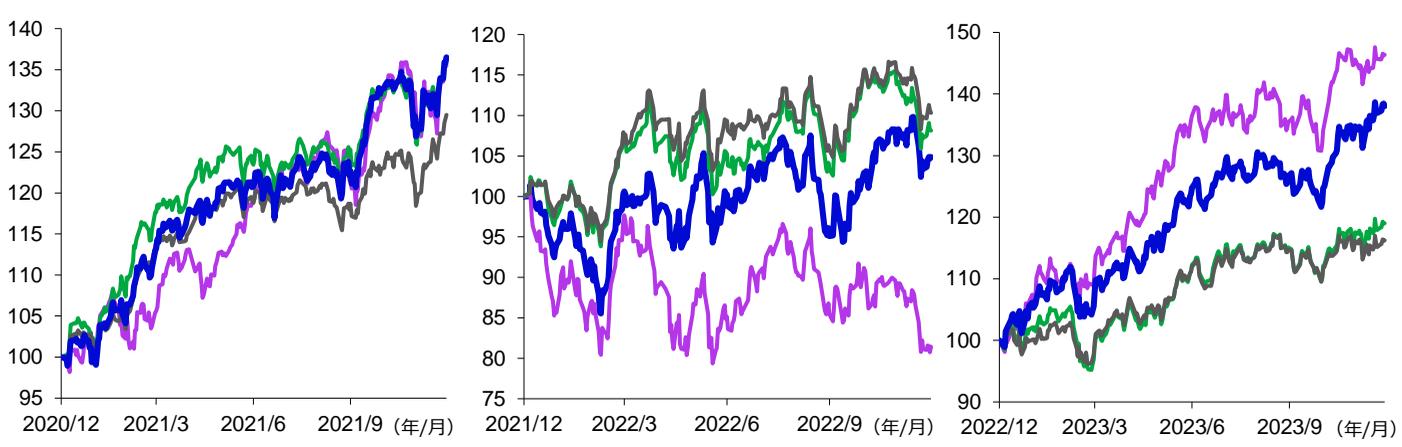
世界のベストはマザーファンドのものです。世界のベストの運用戦略を市場（インデックス）と比較するためにお示ししています。マザーファンドには信託報酬（年率1.903%（税込））はかかりません。実際の各ファンドの運用実績とは異なります。各ファンドの設定来の運用実績は9～10ページをご参照ください。



2021年:コロナ禍からの正常化過程 / スタイル強弱無し

2022年:米国利上げ局面 / バリュースタイル優勢

2023年:米国利上げ局面終了 / グロースや大型テクノロジー株式優勢



— 世界のベスト    — 世界株式 (グロース)    — 世界株式 (バリュースタイル)    — 世界株式 (高配当)

出所：ブルームバーグ、インベスコ 上グラフ期間：2020年12月末～2024年9月末（2020年12月末を100として指数化）、左下グラフ期間：2020年12月末～2021年12月末（2020年12月末を100として指数化）中央下グラフ期間：2021年12月末～2022年12月末（2021年12月末を100として指数化）右下グラフ期間：2022年12月末～2023年12月末（2022年12月末を100として指数化）世界のベストはマザーファンド（信託報酬控除前）を使用。世界株式（グロース）は、MSCIワールド・グロース・インデックス（米ドルベース）、世界株式（バリュースタイル）は、MSCIワールド・バリュースタイル・インデックス（米ドルベース）、世界株式（高配当）は、MSCIワールド・高配当利回り・インデックス（米ドルベース）。すべて税引後配当込み。当ファンドの基準日の前営業日の数値を用いて委託会社にて円換算しています。同インデックスはグラフ期間中の市場環境を示す目的でご参考として掲載しています。ベンチマークは、＜為替ヘッジあり＞：MSCIワールド・インデックス（税引後配当込み、円ヘッジベース）、＜為替ヘッジなし＞：MSCIワールド・インデックス（税引後配当込み、円換算ベース）です。上記銘柄への投資を勧誘・推奨するものではなく、将来の組み入れまたは売却を示唆・保証するものではありません。上記は過去のデータであり、将来の成果を保証するものではありません。

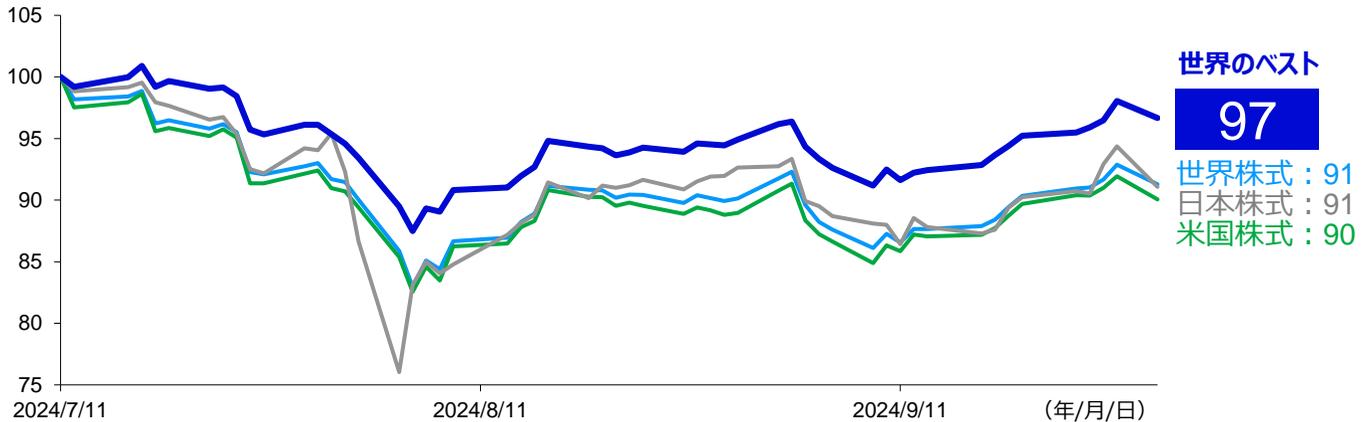
# インベスコ 世界厳選株式オープン 【愛称：世界のベスト】

## Q3 2024年夏の相場下落時の投資行動について教えてください

- 2024年夏には、米国の7月の雇用統計が予想に反して悪化したことを受け、米国の「ソフトランディング」期待が剥落したことから、世界的に株式市場は大きく下落しました。
- 年初より株式市場は上昇傾向にありましたが、運用チームはこのような楽観的な市場環境が続くとは考えておらず、**リスクにも備えたポートフォリオを構築**してきました。そのため、下落時にも相対的に下値が抑制され、その後も回復基調となりました。
- これは、「世界のベスト」が、以下のような運用を行っていることが背景にあると考えています。
  - ① **ダウサイド・リスクが小さい傾向にある「割安」銘柄と、安定したリターン之源泉となる「配当」にも着目していること**
  - ② **特定のセクターやマクロ環境に大きく振られない分散されたポートフォリオを構築していること**

### 2024年の下落局面の世界のベストと主な市場のパフォーマンス（円ベース）

期間：2024年7月11日～2024年9月末（2024年7月11日を100として指数化）



### 市場とは異なるポートフォリオ 世界のベストと世界株式の組入上位10銘柄 2024年9月末現在

世界株式のインデックスの組入上位10銘柄を見てみると、国・地域は米国が、業種は情報技術が多くを占めています。一方、「世界のベスト」は、欧州などの銘柄にも投資、業種も多岐にわたっており、**相対的に分散されたポートフォリオ**となっています。

#### 世界のベスト

銘柄名	国	業種
1 3iグループ	英国	金融
2 エイテッドヘルスグループ	米国	ヘルスケア
3 ロール・ロイス・ホールディングス	英国	資本財・サービス
4 マイクロソフト	米国	情報技術
5 テキサ・インスツルメンツ	米国	情報技術
6 ロンドン証券取引所グループ	英国	金融
7 ユニオン・パシフィック	米国	資本財・サービス
8 ブロードコム	米国	情報技術
9 AIAグループ	香港	金融
10 アゼリスグループ	ベルギー	資本財・サービス

#### 市場：世界株式

銘柄名	国	業種
1 アップル	米国	情報技術
2 マイクロソフト	米国	情報技術
3 エヌビディア	米国	情報技術
4 アマゾン・ドット・コム	米国	一般消費財・サービス
5 メタ・プラットフォームA	米国	コミュニケーション・サービス
6 アルファベットA	米国	コミュニケーション・サービス
7 アルファベットC	米国	コミュニケーション・サービス
8 ブロードコム	米国	情報技術
9 テスラ	米国	一般消費財・サービス
10 イーライリリー・アント・カンパニー	米国	ヘルスケア

出所：インベスコ、ブルームバーグ 下落局面は2024年におけるMSCIワールド・インデックス（円ベース）の最高値からドローダウンが開始した日を起点に計算。世界のベストは＜為替ヘッジなし＞（毎月決算型）の基準価額（課税前分配金再投資、信託報酬控除後）を使用。世界株式：MSCIワールド・インデックス（米ドルベース）、米国株式：S&P500指数（米ドルベース）、日本株式：TOPIX、すべて税引後配当込み。米ドルベースの指数は、当ファンドの基準日の前営業日の数値を用いて委託会社にて円換算しています。同インデックスはグラフ期間中の市場環境を示す目的でご参考として掲載しています。組入上位10銘柄の世界株式：MSCIワールド・インデックス 上記銘柄への投資を推奨・勧誘するものではなく、当ファンドにおける将来の組み入れまたは売却を示唆・保証するものではありません。上記は2024年9月末時点における運用チームの見解を示したものであり、将来予告なく変更されることがあります。上記は過去のデータであり、将来の成果を保証するものではありません。

# インベスコ 世界厳選株式オープン 【愛称：世界のベスト】

## Q4 具体的にどのように銘柄を選択していますか

- 「世界のベスト」は、ビジネスの競争優位性、財務の健全性、経営力などについて個別銘柄を徹底的に調査・分析し、株価の適正水準などの評価を行うボトムアップ・アプローチにより銘柄を厳選します。また、ポートフォリオ構築の際には、どのような局面においても成果を得られるようにリスク分散を図っています。

### 厳選投資の運用プロセス

先進国の企業約**20,000社**\*1から調査対象企業の絞り込み

ステップ1

#### 投資アイデアの発掘

独自の分析や、チーム内でのコミュニケーションなどから生まれた投資アイデアについて、グローバルの同業他社と比較し、定量・定性面からスクリーニング

ステップ2

#### ファンダメンタルズ分析

さらに詳細な分析を行う銘柄を選定し、企業などと面談し、詳細なレポートや業績予想モデルを作成

ステップ3

#### ポートフォリオ構築

投資候補となった銘柄について、今後期待できるリターンの水準や、既存の保有銘柄との相関を勘案しながら、ポートフォリオを構築

約**40-50の銘柄**を厳選\*2

- 銘柄を組み入れる際には、必ずグローバルの競合他社との比較検討を行います。「成長」「配当」「割安」の観点から総合的に判断し、より魅力的な銘柄を選定してきます。

#### 競合他社と比較し、ベストと考える銘柄に厳選投資した一例

一例として、生活必需品の業種において、共にグローバルに活躍している「コカ・コーラ・ユーロパシフィック（以下、「CCEP）」と「ネスレ」を比較しました。どちらも配当水準は魅力的と考えていましたが、成長と株価水準（割安）に関しては、「CCEP」の優位性が高いと判断しました。また、定性面においても、より高いブランド力と価格決定力を有すると考えた「CCEP」を組み入れました。

#### 生活必需品

#### 世界のベストで組み入れ



コカ・コーラ・ユーロパシフィック・パートナーズ

(オランダ/生活必需品)

コカ・コーラ製品の製造・販売に携わる世界最大のボトラー。コカ・コーラ社と提携し、飲料の製造・流通・販売を行う。



ネスレ

(スイス/生活必需品)

世界最大の食品・飲料会社。「ネスカフェ」「ペリエ」「キットカット」などさまざまなブランドを持つ。

#### 企業概要

成長 (EPS成長率)	4.9%	比較	3.0%
配当 (配当利回り)	2.7%		3.5%
割安 (予想PER)	16.4倍		16.9倍

出所：インベスコ、ブルームバーグ \*1 出所：WORLD FEDERATION OF EXCHANGES、LSE Group London Stock Exchange 2024年5月末現在（LSE Group London Stock Exchangeは2024年6月末現在）。先進国の企業数は以下の証券取引所の上場企業数を合算することにより21,068社と算出。当数字は、以下の各証券取引所の上場企業数を合計したものであり、重複上場を考慮していません。北米：NYSE、Nasdaq、TMX Group。アジア太平洋：ASX Australian Securities Exchange、Hong Kong Exchanges and Clearing、Japan Exchange Group、Singapore Exchange。欧州：Euronext、BME Spanish Exchanges、Deutsche Boerse AG、LSE Group London Stock Exchange。\*2 ポートフォリオの銘柄数は運用状況に応じて変わります。上記運用プロセスは、2024年9月末現在のものであり、今後変更となる場合があります。EPS成長率は、3～5年先予想、配当利回りは12か月実績、PERは翌年の1株当たり予想EPSを使用した予想。予想はいずれも、ブルームバーグによるコンセンサス予想。上記は運用チームによる2024年9月末時点における見解を示したものであり、将来予告なく変更される場合があります。上記銘柄への投資を勧誘・推奨するものではなく、将来の組み入れまたは売却を示唆・保証するものではありません。上記は過去のデータであり、将来の成果を保証するものではありません。

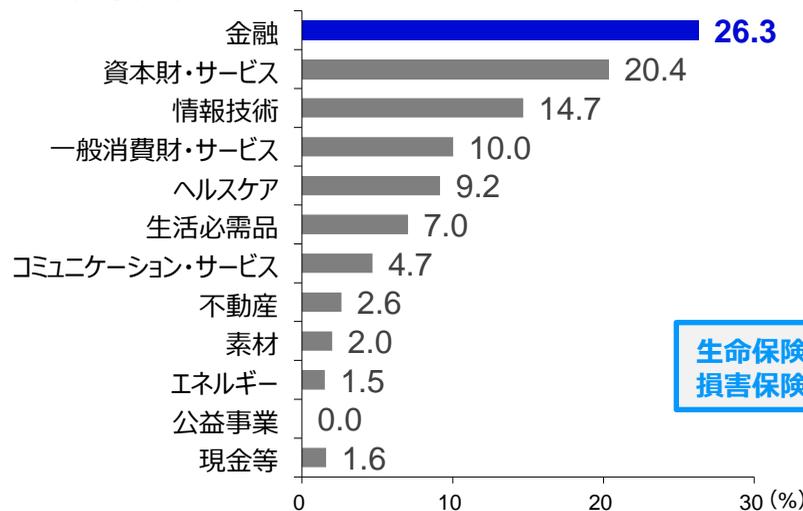
# インベスコ 世界厳選株式オープン 【愛称：世界のベスト】

## Q5 「金融」セクターの組み入れ比率が高い背景を教えてください

- 2024年9月末現在、業種別構成比率の組み入れ1位は「金融」セクターですが、これはあくまでも個別銘柄の選択を行った結果です。
- その内訳を見てみると、90%は銀行以外で占められており、**金融政策に大きく振られない構成**となっています。また、投資会社、取引所、カード会社、保険会社など非常に多様な分野に渡っており、それぞれ異なる値動きになる傾向があることから、リスクが抑えられたポートフォリオとなっています。

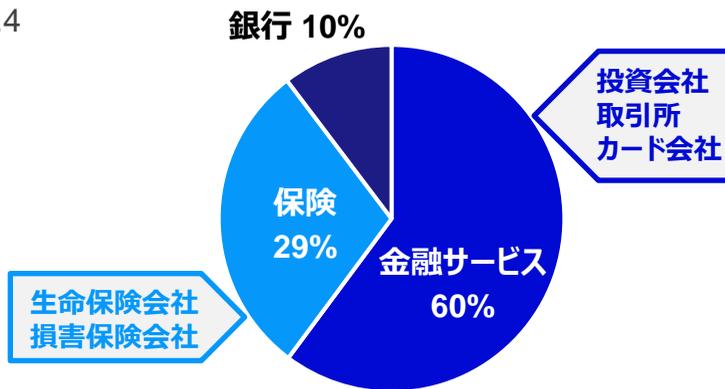
### 世界のベストの業種別構成比率

2024年9月末現在



### 世界のベストの「金融セクター」の内訳

2024年9月末現在



- 金融の中で取引所の銘柄をご紹介します。

### 金融の中で投資している「取引所」の銘柄に関しての着目ポイント

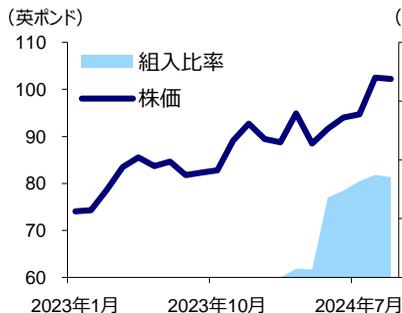
- ① 高い参入障壁
- ② 安定的な収益（サブスクリプション\*など）が見込まれるビジネス  
取引手数料やデータ提供ビジネスなどから安定したキャッシュフローが見込める

投資銘柄例	ロンドン証券取引所グループ	インターコンチネンタル・エクスチェンジ	CMEグループ
-------	---------------	---------------------	---------

<p><b>企業概要</b></p> <p>英国の金融市場インフラおよびデータプロバイダー。英国の主要な証券取引所を運営。データ提供ビジネスが売上の約半分を占めている。</p>	<p><b>企業概要</b></p> <p>世界最大のニューヨーク証券取引所などを傘下とする米国の取引所運営会社。特にエネルギーやコモディティ関連市場で強みを持つ。</p>	<p><b>企業概要</b></p> <p>米国でシカゴ・マーカントイル取引所やニューヨーク・マーカントイル取引所などを運営。米国金利について独占的な地位を持つ。</p>
--	--	---

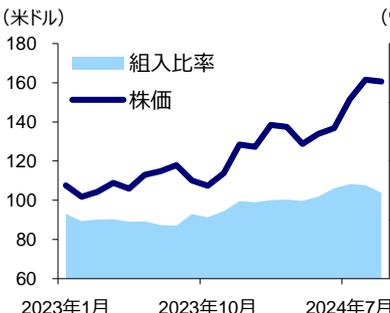
#### 株価と組入比率の推移

期間：2023年1月末～2024年9月末  
(組入比率は、2024年3月末～2024年9月末)



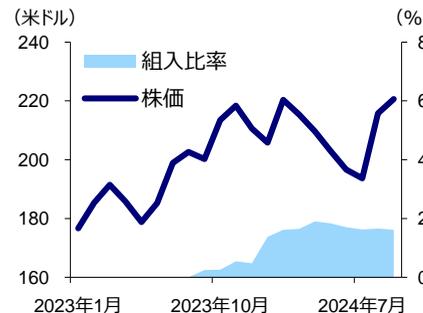
#### 株価と組入比率の推移

期間：2023年1月末～2024年9月末



#### 株価と組入比率の推移

期間：2023年1月末～2024年9月末  
(組入比率は、2023年9月末～2024年9月末)



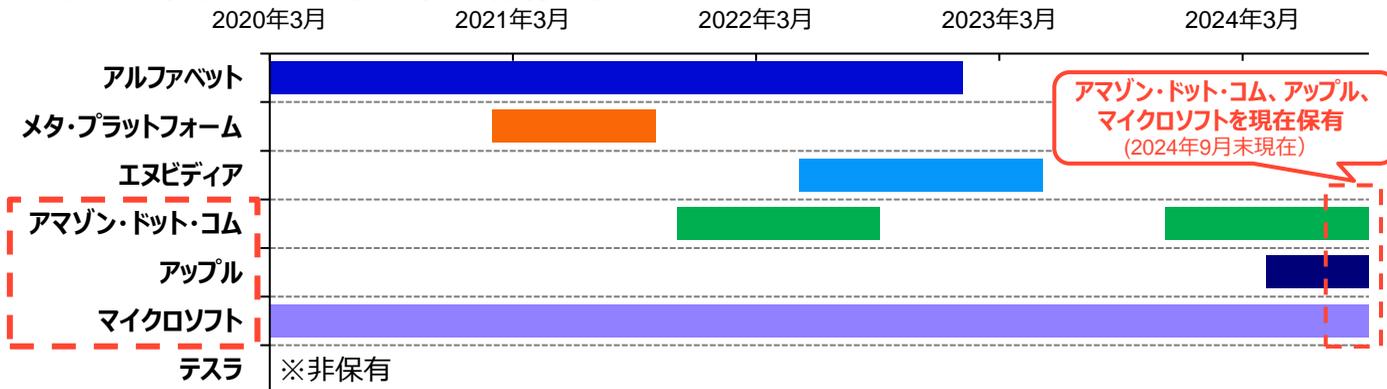
\* 一定期間利用できる権利に対して料金を支払うビジネスモデル 出所：インベスコ、ブルームバーグ 当ファンドは、ファミリー・ファンド方式により運用を行っており、マザーファンドのポートフォリオの状況を記載しています。比率は対純資産比率です。業種は、ベンチマークで採用している分類に準じています。四捨五入の関係上、合計が100%とならない場合があります。上記は運用チームによる2024年9月末時点における見解を示したものであり、将来予告なく変更される場合があります。上記銘柄への投資を勧誘・推奨するものではなく、将来の組み入れを示唆・保証するものではありません。上記は過去のデータであり、将来の成果を保証するものではありません。

# インベスコ 世界厳選株式オープン 【愛称：世界のベスト】

## Q6 マグニフィセント7についての見方を教えてください

- 大型テクノロジー銘柄であるマグニフィセント7 \*1に関しても、成長、配当、割安の観点から投資するかどうかを見ています。マグニフィセント7については、様々な局面で保有してきましたが、**いずれも株価水準が「割安」と考えるタイミングで組み入れてきました。**
- 現状では、以下の3銘柄を組み入れています。
  - ①世界トップのクラウドのシェアを有することから、クラウド化の構造的成長の恩恵を受けると期待される**アマゾン・ドット・コム**
  - ②iPhoneやWindowsなど、人々の生活に欠かせない製品・サービスを提供するという意味で「生活必需品」の企業に近いと考えている**アップル**や**マイクロソフト**

### 世界のベストでのマグニフィセント7の保有実績



## Q7 今年新たに組み入れた銘柄について教えてください

### コカ・コーラ・ユーロパシフィック・パートナーズ (オランダ/生活必需品)

#### 企業概要

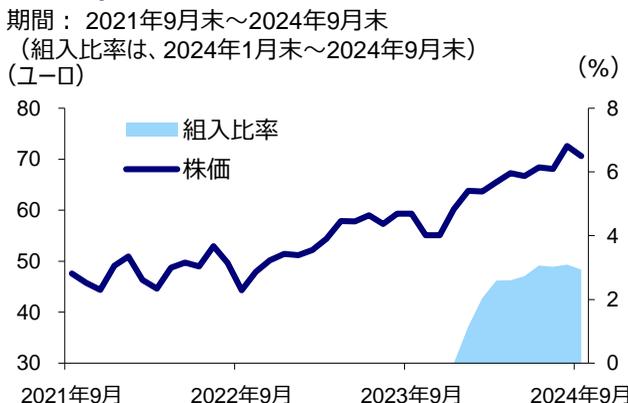
- コカ・コーラ製品の製造・販売に携わる世界最大のボトラー。コカ・コーラ社と提携し、飲料の製造・流通・販売を行う企業。
- コカ・コーラ社が約19%の株式を保有\*2。



#### 投資の着目点

- 【成長】  
優秀な経営陣により、コスト削減が実現。  
利益率が高く、成長率の高いカテゴリー（砂糖不使用、スパークリングなど）に資本を配分。
- 【配当】  
配当利回り：2.6%  
継続して安定した配当を行っていることを評価。
- 【割安】  
予想PER：16.8倍（2024年9月末現在）

#### 株価と組入比率の推移



\*1 グーグルの親会社アルファベット、アップル、フェイスブック（現メタ・プラットフォーム）、アマゾン・ドット・コム、マイクロソフト、テスラ、エヌビディア  
\*2 2024年11月22日現在 出所：インベスコ、ブルームバーグ、Factset、企業公開情報 国・地域は、発行体の国籍（所在国）などで区分しています。セクターは、ベンチマークで採用している分類に準じています。当ファンドは、ファミリー・ファンド方式により運用を行っており、マザーファンドのポートフォリオの状況を記載しています。組入比率は対純資産比です。予想PERは来年度の予想1株当たり利益に基づく値を使用。上記銘柄への投資を勧誘・推奨するものではなく、将来の組み入れを示唆・保証するものではありません。上記は運用チームによる2024年9月末時点における見解を示したものであり、将来予告なく変更される場合があります。上記は過去のデータであり、将来の成果を保証するものではありません。写真はイメージです。

# インベスコ 世界厳選株式オープン 【愛称：世界のベスト】

## Q8 今後、どのような分野に投資機会があると考えていますか

- 主な投資の着目点としては、2024年の前半からあまり変化はなく以下の3つの点となっています。
- 加えて、以下の理由から着実なリターンの源泉となる「配当」の重要性が高まると考えています。
  - ① 過去10年間、企業は順調に利益成長を遂げてきており、成長期待の高まりから市場全体で株価水準（バリュエーション）が切りあがることで株価の上昇を後押しした面も見られた。そのため、株価の割安度が低下していること。
  - ② 地政学リスクの高まり、2024年の選挙イヤーが終了した後の新しい政策や米国による関税政策への不透明感などによる市場の変動性の高まりが予想されること。

### 運用チームが考える主な投資の着目点と投資機会

	着目点	投資機会	銘柄例
①	やや緩和しつつあるも、 米国大型テクノロジー銘柄への 高い市場集中度	マグニフィセント7以外の銘柄	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ ロールス・ロイス・ホールディングス</li> <li>■ テキサス・インスツルメンツ</li> </ul>
②	いまだ市場参加者の多くが 経済のソフト・ランディング*を想定	ディフェンシブ銘柄	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ ユナイテッドヘルス・グループ</li> <li>■ コカ・コーラ・ユーロパシフィック・パートナーズ</li> </ul>
③	引き続き、大型株優勢の相場	中小型銘柄	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ アゼリス・グループ</li> <li>■ ベラリア</li> </ul>

プラス



### 「配当」に着目！

市場全体の株価水準（バリュエーション）の上昇余地は限定的、配当による着実なリターンの重要性が高まる

\* 景気が緩やかに減速することを指します 出所：インベスコ  
上記銘柄への投資を勧誘・推奨するものではなく、将来の組み入れまたは売却を示唆・保証するものではありません。上記は運用チームによる2024年9月末時点における見解を示したものであり、将来予告なく変更される場合があります。上記は過去のデータであり、将来の成果を保証するものではありません。

# インベスコ 世界厳選株式オープン【愛称：世界のベスト】

## 世界のベストのポイント

### 「株式投資の王道」にこだわって世界のベストに厳選投資

日本を含む世界各国（エマージング国を除く）の株式の中から、独自の視点で厳選した世界のベストと考える銘柄に投資を行います。「成長」+「配当」+「割安」の3つの観点に着目して投資を行うことを、当ファンドでは「株式投資の王道」と考えています。



## 日本において「25年超の運用実績」を誇る世界株式ファンド

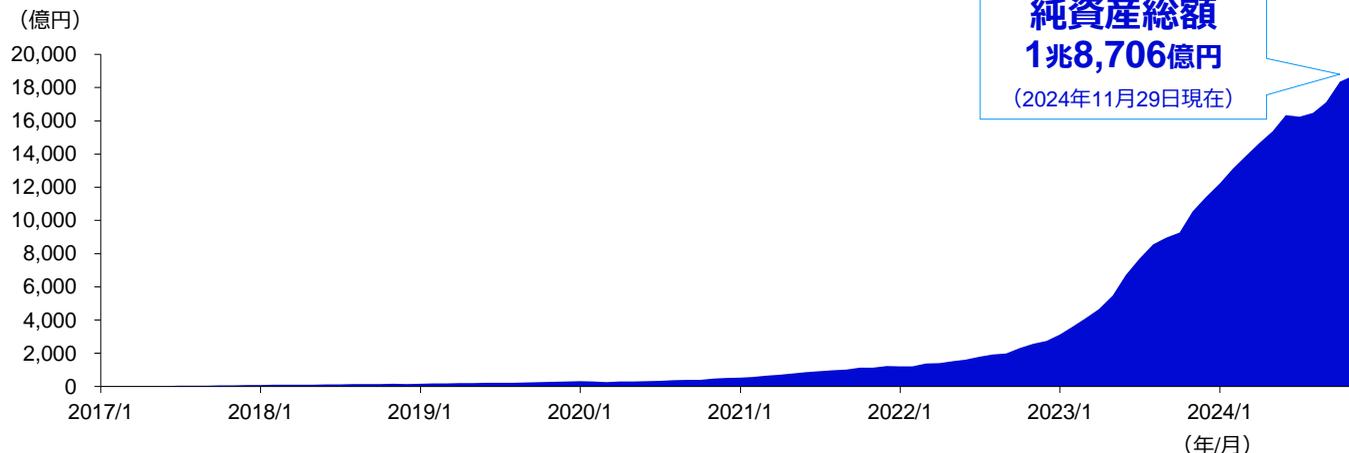
「インベスコ 世界厳選株式オープン〈為替ヘッジあり〉（毎月決算型）/〈為替ヘッジなし〉（毎月決算型）」は、1999年1月に設定され、2016年9月に決算頻度を毎月決算に変更、2017年1月より毎月分配を行っています。また、「インベスコ 世界厳選株式オープン〈為替ヘッジあり〉（年1回決算型）/〈為替ヘッジなし〉（年1回決算型）」は2018年10月に、「インベスコ 世界厳選株式オープン〈為替ヘッジあり〉（奇数月決算型）/〈為替ヘッジなし〉（奇数月決算型）」は2023年9月に設定されました。

※販売会社によっては一部のファンドのみの取扱いとなる場合があります。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。

## 7年超（95カ月）連続での純資金流入\*を記録

「株式投資の王道」にこだわり長期の運用実績を誇る「世界のベスト」は、7年超（95カ月）連続での純資金流入を記録しました。毎年の純資金流入額は2017年以降、年を追うごとに拡大しています。また、純資産総額は1.8兆円を超える水準まで増加しました。（2024年11月末現在）

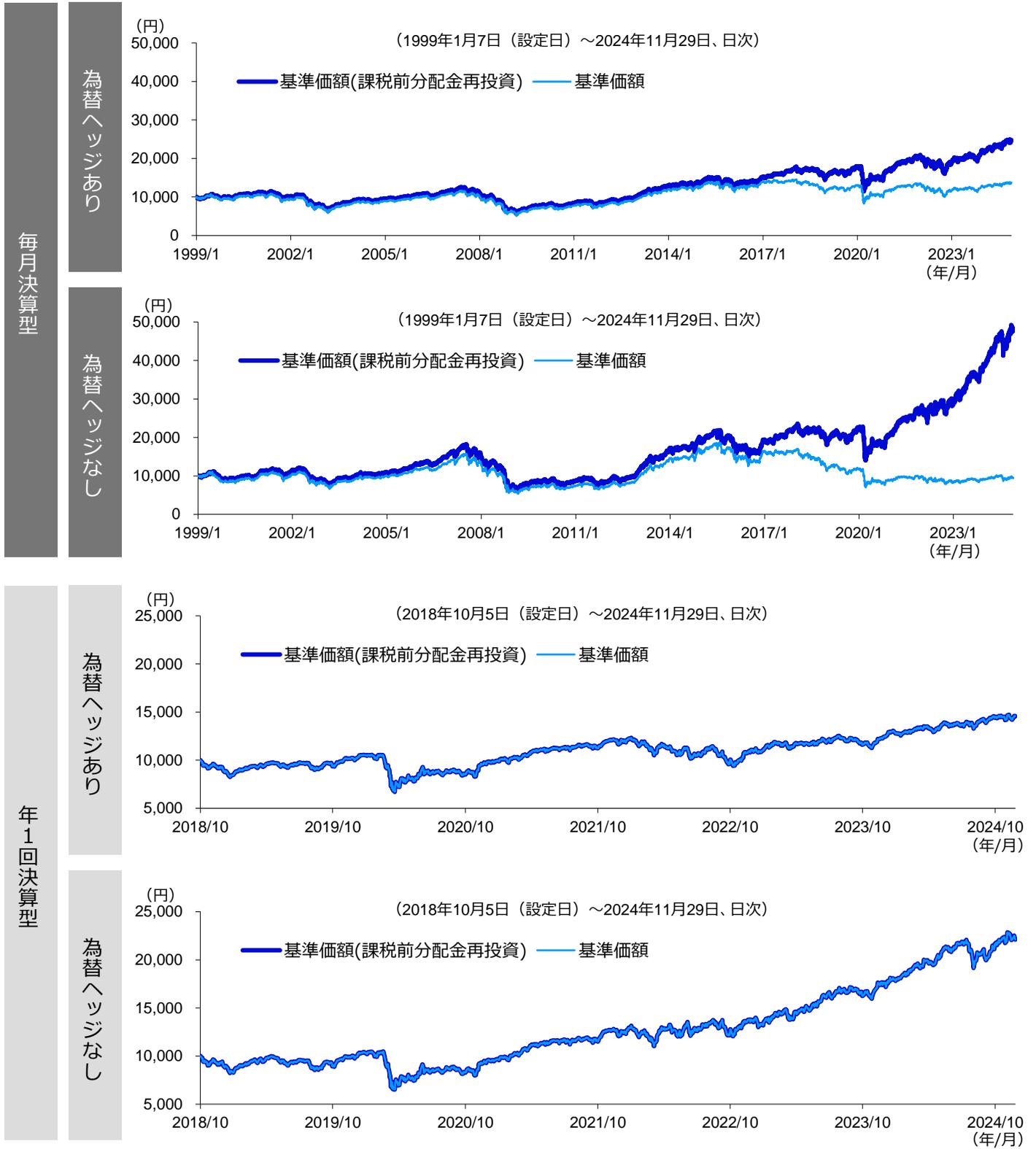
### 「世界のベスト」の純資産総額の推移



\* 純資金流入は、ファンドの設定額から解約額を差し引いたもの。純資金流入の連続記録は、2017年1月から2024年11月まで（月次データ）。  
 出所：インベスコ グラフ期間：2017年1月末～2024年11月末、月次データ  
 世界のベストの純資金流入および純資産総額データは、6ファンドの合計です。上記は過去のデータであり、将来の成果を保証するものではありません。

# インベスコ 世界厳選株式オープン 【愛称：世界のベスト】

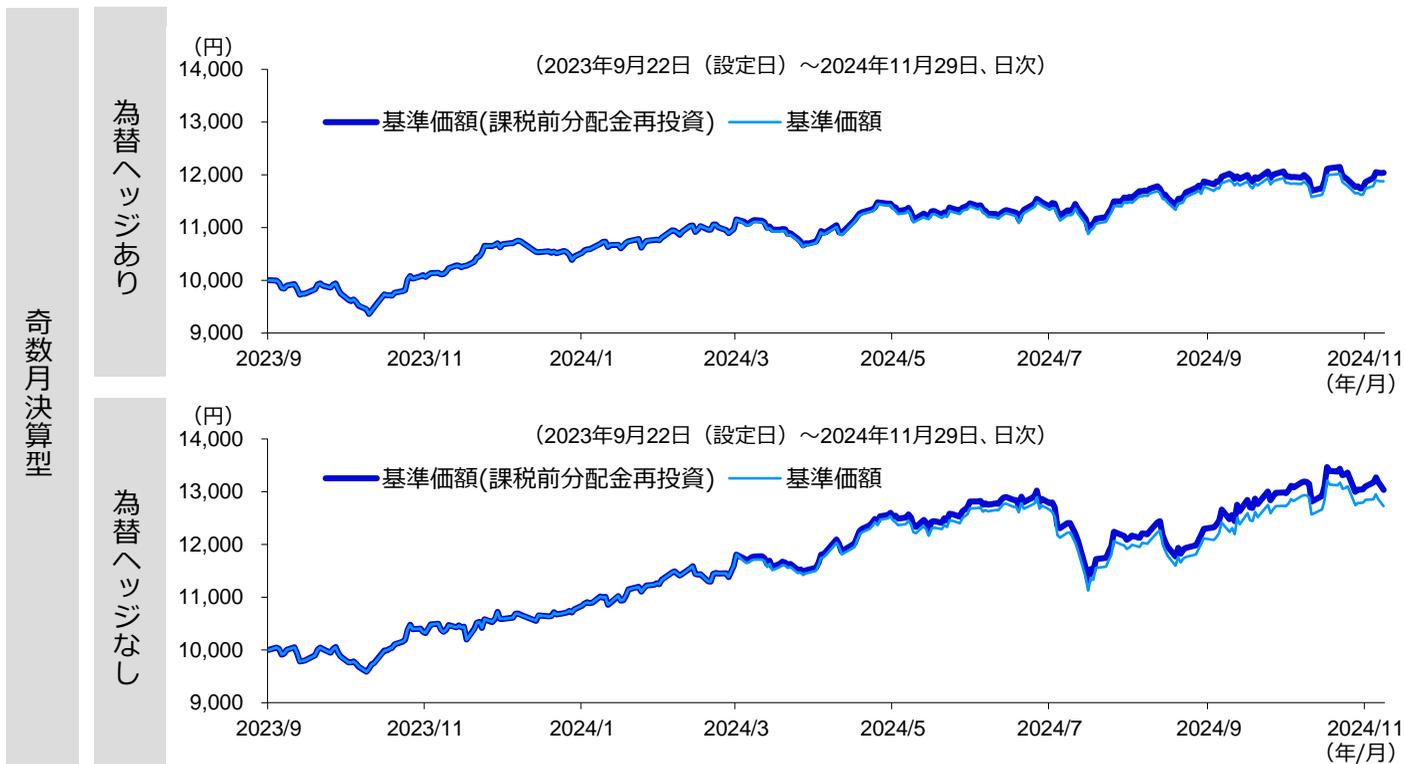
## 設定来の基準価額の推移①



出所：インベスコ  
 基準価額は、信託報酬控除後のものです。上記は過去のデータであり、将来の運用成果を保証するものではありません。

# インベスコ 世界厳選株式オープン 【愛称：世界のベスト】

## 設定来の基準価額の推移②



出所：インベスコ

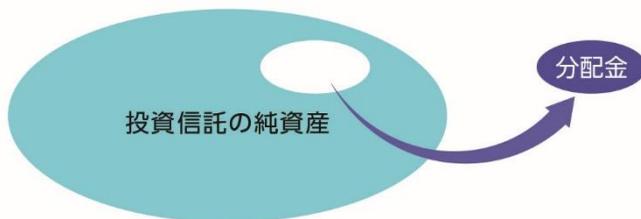
基準価額は、信託報酬控除後のものです。上記は過去のデータであり、将来の運用成果を保証するものではありません。

## インベスコ 世界厳選株式オープン 【愛称：世界のベスト】

## 収益分配金に関する留意事項

- 分配金は、預貯金の利息とは異なり、投資信託の純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。

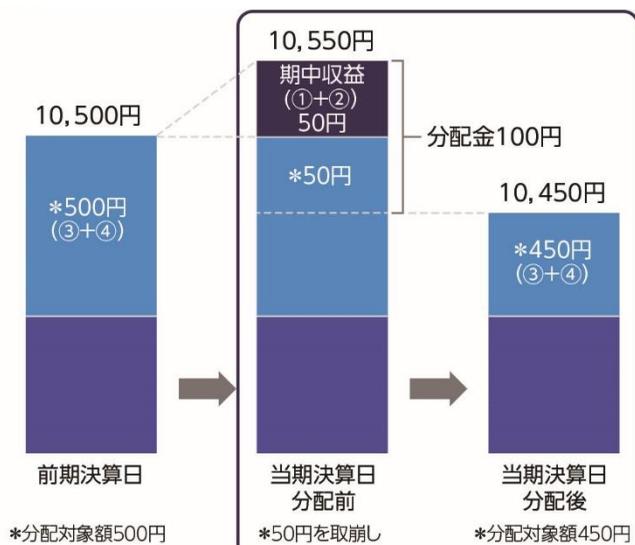
## 投資信託で分配金が支払われるイメージ



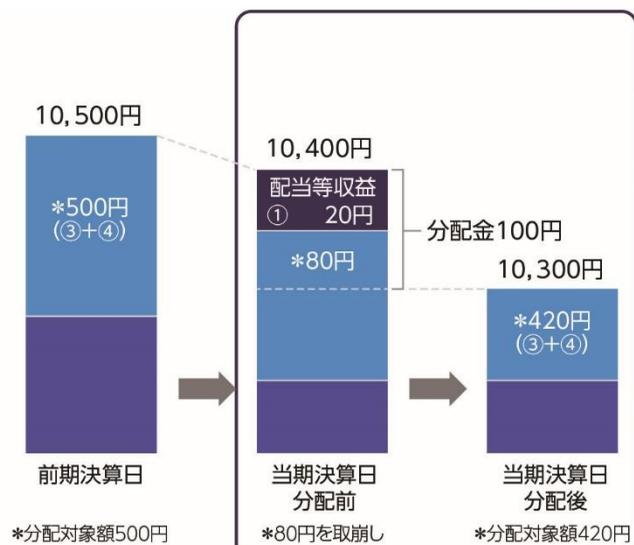
- 分配金は、計算期間中に発生した収益（経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益）を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。また、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。

## 計算期間中に発生した収益を超えて支払われる場合

## ■ 前期決算日から基準価額が上昇した場合



## ■ 前期決算日から基準価額が下落した場合



(注) 分配対象額は、①経費控除後の配当等収益および②経費控除後の評価益を含む売買益ならびに③分配準備積立金および④収益調整金です。分配金は、分配方針に基づき、分配対象額から支払われます。

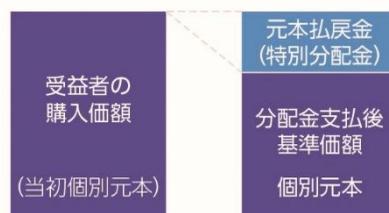
※上記はイメージ図であり、実際の分配金額や基準価額を示唆するものではありませんのでご留意下さい。

- 受益者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部ないし全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。

## ■ 分配金の一部が元本の一部払戻しに相当する場合



## ■ 分配金の全部が元本の一部払戻しに相当する場合



普通分配金：個別元本（受益者のファンドの購入価額）を上回る部分からの分配金です。

元本払戻金（特別分配金）：個別元本を下回る部分からの分配金です。分配後の受益者の個別元本は、元本払戻金（特別分配金）の額だけ減少します。

(注) 普通分配金に対する課税については、投資信託説明書（交付目論見書）「手続・手数料等」の「ファンドの費用・税金」をご参照下さい。

# インベスコ 世界厳選株式オープン【愛称：世界のベスト】

## ファンドの投資リスク

ファンドは預貯金とは異なり、投資元本は保証されているものではないため、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。ファンドの運用による損益はすべて受益者に帰属します。

### 基準価額の変動要因

ファンドは実質的に国内外の株式など値動きのある有価証券等に投資しますので、以下のような要因により基準価額が変動し、損失を被ることがあります。

<b>価格変動リスク</b>	<p>〈株式〉株価の下落は、基準価額の下落要因です。 株価は、政治・経済情勢、発行企業の業績や財務状況、市場の需給などを反映し、下落することがあります。</p>
<b>信用リスク</b>	<p>発行体や取引先の債務不履行等の発生は、基準価額の下落要因です。 ファンドが投資する有価証券の発行体が債務不履行や倒産に陥った場合、または懸念される場合、当該有価証券の価格が大きく下落したり、投資資金を回収できなくなることがあります。また、投資する金融商品の取引先に債務不履行等が発生した場合に、損失が生じることがあります。</p>
<b>カントリー・リスク</b>	<p>投資対象国・地域の政治・経済等の不安定化は、基準価額の下落要因です。 投資対象国・地域において、政治・経済情勢の急激な変化や新たな取引規制が導入される場合などには、ファンドが投資する有価証券等の価格が下落したり、新たな投資や投資資金の回収ができなくなる可能性があります。</p>
<b>為替変動リスク</b>	<p>〈為替ヘッジあり〉為替の変動（円高）が基準価額に与える影響は限定的です。 為替ヘッジ（原則としてフルヘッジ）を行い為替変動リスクの低減に努めますが、為替変動の影響を完全に排除できるとは限りません。また、円金利が為替ヘッジを行う通貨の金利より低い場合、当該通貨と円の金利差相当分のヘッジコストがかかります。</p> <p>〈為替ヘッジなし〉為替の変動（円高）は、基準価額の下落要因です。 為替ヘッジを行わないため為替変動の影響を受けることになり、円高方向に変動した場合には外貨建資産の円での資産価値が下落します。</p>

※基準価額の変動要因は、上記に限定されるものではありません。

## その他の留意点

### ファンド固有の留意点

- ベンチマークは、今後、他の指数へ変更されることがあります。

### 投資信託に関する留意点

- ファンドの購入に関しては、クーリングオフ（金融商品取引法第37条の6の規定）制度の適用はありません。
- ファンドにおいて短期間に相当金額の換金資金の手当てを行う場合や市場環境の急激な変化等が生じた場合は、当初期待された価格や数量の有価証券等を売却できないことや取引に時間を要することがあるため、基準価額に影響を及ぼす可能性があります。また、これらの要因等により有価証券等の売却・換金が困難となった場合や、資金の受け渡しに関する障害が発生した場合は、ファンドの換金のお申し込みの受付中止（既にお申し込みを受け付けた場合を含みます。）や換金資金のお支払いの遅延となる可能性があります。
- マザーファンド受益証券に投資する他のベビーファンドの追加設定・解約等に伴う資金変動などが生じ、マザーファンドにおいて組入る有価証券等の売買が行われた場合などには、組入る有価証券等の価格の変化や売買手数料などの負担がマザーファンドの基準価額に影響を及ぼすことがあります。

## 設定・運用は

商号等：インベスコ・アセット・マネジメント株式会社  
 金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第306号  
 加入協会：一般社団法人投資信託協会  
 一般社団法人日本投資顧問業協会

## 〈ファンドに関する照会先〉

ファンドの基準価額、販売会社等の情報についてはインベスコ・アセット・マネジメント株式会社にお問い合わせください。  
 お問い合わせダイヤル 03-6447-3100  
 【受付時間は営業日の午前9時から午後5時までです】  
 ホームページ <https://www.invesco.com/jp/ja/>

# インベスコ 世界厳選株式オープン【愛称：世界のベスト】

## お申し込みメモ

購入単位	お申し込みの販売会社にお問い合わせください。 * 分配金の受け取り方法により、「自動けいぞく投資コース」と「一般コース」の2コースがあります。
購入価額	購入の申込受付日の翌営業日の基準価額
購入代金	販売会社が定める期日までにお支払いください。
換金単位	お申し込みの販売会社にお問い合わせください。
換金価額	換金の申込受付日の翌営業日の基準価額から、信託財産留保額を控除した価額
換金制限	投資信託財産の資金管理を円滑に行うため、大口の換金申込には一定の制限を設ける場合があります。
購入・換金申込受付の中止および取り消し	取引所などにおける取引の停止、その他やむを得ない事情があるときは、購入・換金のお申し込みの受け付けを中止すること、および既に受け付けた購入・換金のお申し込みの受け付けを取り消すことがあります。
信託期間	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 毎月決算型：無期限（設定日：1999年1月7日）</li> <li>■ 年1回決算型：無期限（設定日：2018年10月5日）</li> <li>■ 奇数月決算型：無期限（設定日：2023年9月22日）</li> </ul>
決算日	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 毎月決算型：毎月23日（ただし、同日が休業日の場合は翌営業日）</li> <li>■ 年1回決算型：毎年12月23日（ただし、同日が休業日の場合は翌営業日）</li> <li>■ 奇数月決算型：毎年1、3、5、7、9、11月の各23日（ただし、同日が休業日の場合は翌営業日）</li> </ul>
収益分配	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 毎月決算型：毎月の決算日に分配方針に基づいて収益の分配を行います。</li> <li>■ 年1回決算型：年1回の決算日に分配方針に基づいて収益の分配を行います。</li> <li>■ 奇数月決算型：年6回の決算日に分配方針に基づいて収益の分配を行います。</li> </ul> <p>* 自動けいぞく投資コースでお申し込みの場合は、分配金は税引後無手数料で再投資されます。</p>
課税関係	課税上は株式投資信託として取り扱われます。公募株式投資信託は税法上、一定の要件を満たした場合に少額投資非課税制度「NISA（ニーサ）」の適用対象となります。毎月決算型は、NISAの対象ではありません。年1回決算型と奇数月決算型は、NISAの「成長投資枠（特定非課税管理勘定）」の対象ですが、販売会社により取り扱いが異なる場合があります。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。配当控除は適用されません。

## ファンドの費用

### 投資者が直接的に負担する費用

購入時手数料	購入の申込受付日の翌営業日の基準価額に、販売会社が定める <b>3.30%（税抜3.00%）以内</b> の率を乗じて得た額。
信託財産留保額	換金の申込受付日の翌営業日の基準価額に <b>0.30%</b> の率を乗じて得た額

### 投資者が信託財産で間接的に負担する費用

運用管理費用（信託報酬）	<p>日々の投資信託財産の純資産総額に<b>年率1.903%（税抜1.73%）</b>を乗じて得た額とします。運用管理費用（信託報酬）は日々計上され、ファンドの基準価額に反映されます。なお、以下の支払時期に投資信託財産中から支払われます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 毎月決算型：毎計算期末または信託終了時。</li> <li>■ 年1回決算型：毎計算期間の最初の6カ月終了日および毎計算期末または信託終了時。</li> <li>■ 奇数月決算型：毎計算期末または信託終了時。</li> </ul>
その他の費用・手数料	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 組入る有価証券の売買委託手数料、資産を外国で保管する場合の費用などは、実費を投資信託財産中から支払うものとします。これらの費用は運用状況などによって変動するため、事前に具体的な料率、金額、計算方法および支払時期を記載できません。</li> <li>・ 監査費用、目論見書・運用報告書の印刷費用などは、投資信託財産の純資産総額に対して<b>年率0.11%（税抜0.10%）を上限</b>として、信託財産中から以下の支払時期に支払うものとします。 <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 毎月決算型：毎計算期末または信託終了時。</li> <li>■ 年1回決算型：毎計算期間の最初の6カ月終了日および毎計算期末または信託終了時。</li> <li>■ 奇数月決算型：毎計算期末または信託終了時。</li> </ul> </li> </ul>

※上記、ファンドの費用の合計額については、保有期間などに応じて異なりますので、表示することができません。

# インベスコ 世界厳選株式オープン【愛称：世界のベスト】

## 販売会社（投資信託説明書（目論見書）のご請求・お申し込み先）

- 受益権の募集・販売の取り扱い、投資信託説明書（目論見書）の交付、運用報告書の交付代行、分配金・換金代金・償還金の支払いおよび分配金の再投資※に関する事務などを行います。 ※ 分配金を受け取るコースのみを取り扱う販売会社は当該業務を行いません。
- 下記には募集・販売の取り扱いを行っていない販売会社が含まれていることがあります。また、下記以外の販売会社が募集・販売の取り扱いを行っている場合があります。

2024年12月20日現在

金融商品取引業者等の名称	登録番号	日本証券業協会	一般社団法人日本投資顧問業協会	一般社団法人金融先物取引業協会	一般社団法人第二種金融商品取引業協会	毎月決算型 取り扱い 販売会社	年1回 決算型 取り扱い 販売会社	奇数月 決算型 取り扱い 販売会社
アイザワ証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第3283号	○	○	○	○	○	○
株式会社あおぞら銀行※4	登録金融機関	関東財務局長(登金)第8号	○		○	○	○	○
あかつき証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第67号	○	○	○	○	○	○
阿波証券株式会社	金融商品取引業者	四国財務局長(金商)第1号	○			○		
株式会社イオン銀行(委託金融商品取引業者 マネックス証券株式会社)	登録金融機関	関東財務局長(登金)第633号	○			○	○	○
池田泉州TT証券株式会社	金融商品取引業者	近畿財務局長(金商)第370号	○				○	
岩井コスモ証券株式会社	金融商品取引業者	近畿財務局長(金商)第15号	○	○	○	○	○	○
auカブコム証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第61号	○	○	○	○	○	○
S M B C 日興証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第2251号	○	○	○	○	○	○
株式会社SBI証券	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第44号	○		○	○	○	○
株式会社SBI新生銀行(委託金融商品取引業者 株式会社SBI証券、マネックス証券株式会社)	登録金融機関	関東財務局長(登金)第10号	○		○	○	○	○
株式会社大垣共立銀行※3	登録金融機関	東海財務局長(登金)第3号	○		○	○	○	
OKB証券株式会社※3	金融商品取引業者	東海財務局長(金商)第191号	○			○	○	
岡三にいがた証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第169号	○			○	○	○
香川証券株式会社	金融商品取引業者	四国財務局長(金商)第3号	○			○	○	○
極東証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第65号	○		○	○	○	○
きらぼしライフデザイン証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第3198号	○			○	○	
くんぎん証券株式会社※3	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第2938号	○			○	○	
篠山証券株式会社	金融商品取引業者	近畿財務局長(金商)第16号	○			○	○	○
株式会社三十三銀行	登録金融機関	東海財務局長(登金)第16号	○			○	○	
静銀ティーム証券株式会社	金融商品取引業者	東海財務局長(金商)第10号	○			○	○	
Jトラストグローバル証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第35号	○			○	○	○
株式会社十六銀行※4	登録金融機関	東海財務局長(登金)第7号	○		○	○	○	○
株式会社常陽銀行※3(委託金融商品取引業者 めがき証券株式会社)	登録金融機関	関東財務局長(登金)第45号	○		○	○	○	
スルガ銀行株式会社※3	登録金融機関	東海財務局長(登金)第8号	○			○	○	
損保ジャパンD C証券株式会社(確定拠出年金のみの取り扱い)	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第106号	○			○		
大熊本証券株式会社	金融商品取引業者	九州財務局長(金商)第1号	○			○	○	
株式会社第四北越銀行	登録金融機関	関東財務局長(登金)第47号	○		○		○	
株式会社大東銀行※5	登録金融機関	東北財務局長(登金)第17号	○				○	
大和証券株式会社※3	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第108号	○	○	○	○	○	
大和コネク特証券株式会社※3	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第3186号	○			○	○	
株式会社但馬銀行※2	登録金融機関	近畿財務局長(登金)第14号	○			○		
中銀証券株式会社	金融商品取引業者	中国財務局長(金商)第6号	○			○	○	
株式会社中国銀行	登録金融機関	中国財務局長(登金)第2号	○		○	○	○	
東海東京証券株式会社	金融商品取引業者	東海財務局長(金商)第140号	○	○	○	○		

※1 新規の募集・販売の取り扱いを停止しています。※2 <為替ヘッジなし>（毎月決算型）のみ取り扱いを行います。※3 <為替ヘッジなし>（毎月決算型）および<為替ヘッジなし>（年1回決算型）のみ取り扱いを行います。※4 <為替ヘッジなし>（毎月決算型）、<為替ヘッジなし>（年1回決算型）および<為替ヘッジなし>（奇数月決算型）のみ取り扱いを行います。※5 <為替ヘッジなし>（年1回決算型）のみ取り扱いを行います。

# インベスコ 世界厳選株式オープン【愛称：世界のベスト】

## 販売会社（投資信託説明書（目論見書）のご請求・お申し込み先）

- 受益権の募集・販売の取り扱い、投資信託説明書（目論見書）の交付、運用報告書の交付代行、分配金・換金代金・償還金の支払いおよび分配金の再投資※に関する事務などを行います。 ※ 分配金を受け取るコースのみを取り扱う販売会社は当該業務を行いません。
- 下記には募集・販売の取り扱いを行っていない販売会社が含まれていることがあります。また、下記以外の販売会社が募集・販売の取り扱いを行っている場合があります。

2024年12月20日現在

金融商品取引業者等の名称		登録番号	日本証券業協会	一般社団法人日本投資顧問業協会	一般社団法人金融先物取引業協会	一般社団法人第二種金融商品取引業協会	毎月決算型 取り扱い 販売会社	年1回 決算型 取り扱い 販売会社	奇数月 決算型 取り扱い 販売会社
とうほう証券株式会社	金融商品取引業者	東北財務局長(金商)第36号	○				○		
東洋証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第121号	○			○	○	○	
とちぎんTT証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第32号	○				○	○	
株式会社鳥取銀行	登録金融機関	中国財務局長(登金)第3号	○				○	○	
株式会社富山銀行※4	登録金融機関	北陸財務局長(登金)第1号	○				○	○	○
内藤証券株式会社	金融商品取引業者	近畿財務局長(金商)第24号	○			○	○	○	○
株式会社名古屋銀行※3	登録金融機関	東海財務局長(登金)第19号	○				○	○	
西日本シティ証券株式会社	金融商品取引業者	福岡財務支局長(金商)第75号	○				○	○	
日産証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第131号	○		○	○	○	○	
日本生命保険相互会社(確定拠出年金のみの取り扱い)	登録金融機関	近畿財務局長(登金)第36号	○				○		
ニュース証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第138号	○	○			○	○	
野村證券株式会社※1	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第142号	○	○	○	○	○	○	
百五証券株式会社	金融商品取引業者	東海財務局長(金商)第134号	○				○	○	
ひろぎん証券株式会社	金融商品取引業者	中国財務局長(金商)第20号	○				○	○	○
フィデリティ証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第152号	○	○			○	○	○
PayPay銀行株式会社	登録金融機関	関東財務局長(登金)第624号	○		○		○	○	
PayPay証券株式会社※3	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第2883号	○				○	○	
株式会社北陸銀行※3	登録金融機関	北陸財務局長(登金)第3号	○		○		○	○	
松井証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第164号	○		○		○	○	○
マネックス証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第165号	○	○	○	○	○	○	○
丸八証券株式会社	金融商品取引業者	東海財務局長(金商)第20号	○				○	○	
株式会社みずほ銀行※1	登録金融機関	関東財務局長(登金)第6号	○		○	○	○		
三井証券株式会社	金融商品取引業者	北陸財務局長(金商)第14号	○				○	○	○
株式会社三井住友銀行	登録金融機関	関東財務局長(登金)第54号	○		○	○	○	○	
株式会社三菱UFJ銀行	登録金融機関	関東財務局長(登金)第5号	○		○	○	○	○	○
株式会社三菱UFJ銀行(委託金融商品取引業者三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社)	登録金融機関	関東財務局長(登金)第5号	○		○	○	○	○	○
三菱UFJ信託銀行株式会社	登録金融機関	関東財務局長(登金)第33号	○	○	○		○	○	
三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第2336号	○	○	○	○	○	○	○
moomoo証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第3335号	○	○			○	○	○
めびき証券株式会社※3	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第1771号	○				○	○	
株式会社横浜銀行	登録金融機関	関東財務局長(登金)第36号	○		○		○	○	
楽天証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第195号	○	○	○	○	○	○	○
ワイエム証券株式会社	金融商品取引業者	中国財務局長(金商)第8号	○				○	○	

※1 新規の募集・販売の取り扱いを停止しています。 ※2 <為替ヘッジなし>（毎月決算型）のみ取り扱いを行います。 ※3 <為替ヘッジなし>（毎月決算型）および<為替ヘッジなし>（年1回決算型）のみ取り扱いを行います。 ※4 <為替ヘッジなし>（毎月決算型）、<為替ヘッジなし>（年1回決算型）および<為替ヘッジなし>（奇数月決算型）のみ取り扱いを行います。 ※5 <為替ヘッジなし>（年1回決算型）のみ取り扱いを行います。

# インベスコ 世界厳選株式オープン 【愛称：世界のベスト】

---

## 【Morningstar Directを出所とするデータ・グラフについて】

© 2024 Morningstar. All Rights Reserved. ここに含まれる情報は、(1)Morningstar および/またはそのコンテンツ提供者の専有財産であり、(2)複製または配布してはならず、(3)ライセンスおよび Morningstarが提供する投資等の助言ではなく、(4)正確性、完全性または適時性を保証するものではありません。Morningstar、イボットソン・アソシエイツ・ジャパンおよびそのコンテンツ提供者は、この情報の使用により生じるいかなる損害または損失についても責任を負いません。過去の実績は将来の結果を保証するものではありません。

## 【当資料のお取り扱いにおけるご注意】

当資料はインベスコ・アセット・マネジメント株式会社が作成した販売用資料です。当資料は信頼できる情報に基づいて作成されたものですが、その情報の確実性あるいは完結性を表明するものではありません。また、過去の運用実績は、将来の運用成果を保証するものではありません。当資料で詳述した分析は、一定の仮定に基づくものであり、その結果の確実性を表明するものではありません。分析の際の仮定は変更されることもあり、それに伴い当初の分析の結果と差異が生じる場合があります。当資料の中で記載されている内容、数値、図表、意見などは特に記載がない限り当資料作成時点のものであり、今後予告なく変更されることがあります。ファンドの購入のお申し込みの場合には、投資信託説明書（交付目論見書）を販売会社よりあらかじめまたは同時にお渡しますので、必ず内容をご確認の上、ご自身でご判断ください。投資信託は預金や保険契約と異なり、預金保険機構または保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、登録金融機関は投資者保護基金には加入していません。ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定（いわゆるクーリングオフ）の適用はありません。ファンドは、実質的に国内外の値動きのある有価証券など（外貨建資産には、為替変動リスクもあります。）に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、元本が保証されているものではありません。これらの運用による損益はすべて受益者の皆様に帰属します。